

厳しい寒さが続きます。雪の少ない地方でも、
突然の降雪や路面凍結にはご注意を！

スマートフォンでQRコードを読み込むと、DVDと同じ映像をインターネット経由でご覧いただけます。

この用紙は両面印刷でご使用ください。(表)



道路凍結時の急な割り込み

この映像の訴求ポイントは…

- ◎雪道や凍結路は制動距離が長くなるので車間距離を多めに。
- ◎雪道タイヤは定期的に交換を。チェーンも積んでおこう。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



左側の歩行者の右寄り

この映像の訴求ポイントは…

- ◎車の音が歩行者に聞こえているとは限りません。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



道路には多くの危険が潜む

この映像の訴求ポイントは…

- ◎相手が避ける・停まる見込みでアテが外れると事故になります。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



住宅街の十字路

この映像の訴求ポイントは…

- ◎こちらから良く見えていても、相手も見ているとは限りません。
- ◎出てきたような車が見えたら、足はブレーキペダルへ。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



突然のセンターライン越え！これでは避けようが…

この映像の訴求ポイントは…

- ◎シートベルトやチャイルドシートを忘れずに。
- ◎事故が不可避でも、ケガの程度を軽くすることはできます。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。

【コラム】ペダルの踏み間違いは、なぜ起きる？

アクセルペダルとブレーキペダルの踏み間違いによる事故が多発しています。クラッチ操作が不要なオートマ車で、ブレーキだと思って誤ってアクセルを踏み込み、思いがけず加速。自分の頭では正しく操作をしているつもりなのに、車は逆の動きをするため、慌ててしまい、ペダルをさらに踏み込むことでパニック状態に陥り、大きな事故に至ってしまう…。

このようなペダルの踏み間違いによる事故は、近年、クローズアップされているように高齢者に多いですが、一方で若い世代でも少なくありません。専門家によると、ペダル踏み間違いの原因には、人間本来の操作への慣れや、咄嗟の条件反射によるミスがあり、年齢による差はありますが、誰でも踏み間違いを起こす恐れがあると考えるべきでしょう。踏み間違いを起こさないような操作の仕方や、踏み間違いが起きても事故に至らないような仕組みが求められます。

踏み間違い事故の多くが、駐車場などでの発進時に発生しています。例えば、発進時にアクセルペダルを踏み込む前に、足先を左右に動かして、ペダルに軽く触れるように位置を確認してから踏み込む動作をすると、踏み間違いを防ぐことができます。また、料金精算時など、ブレーキペダルを踏んで停止したまま、手で何かを行うことも事故の元です。面倒でも、いったんシフトレバーをパーキングにして、確実に停車した状態にしてから行うようにしましょう。

機械的な仕組みで、踏み間違いが起きても事故を防ぐものもあります。最近では、踏み間違いを自動で検知してブレーキをかける機能が新車で導入されています。車の買い換え時には、このようなセーフティ機能の付いた車を選ぶのも手です。

また、ペダルに後付加工する踏み間違い防止装置もあります。誤ってアクセルペダルを踏み込んだ時に、踏み込みが解除されるようになっているものや、アクセルとブレーキの操作が同じ“踏み込み”にあることが間違いを誘発する原因であるとして、アクセル操作を足先のスライドに変更する仕組みの商品もあります。

